

**原爆ドーム**

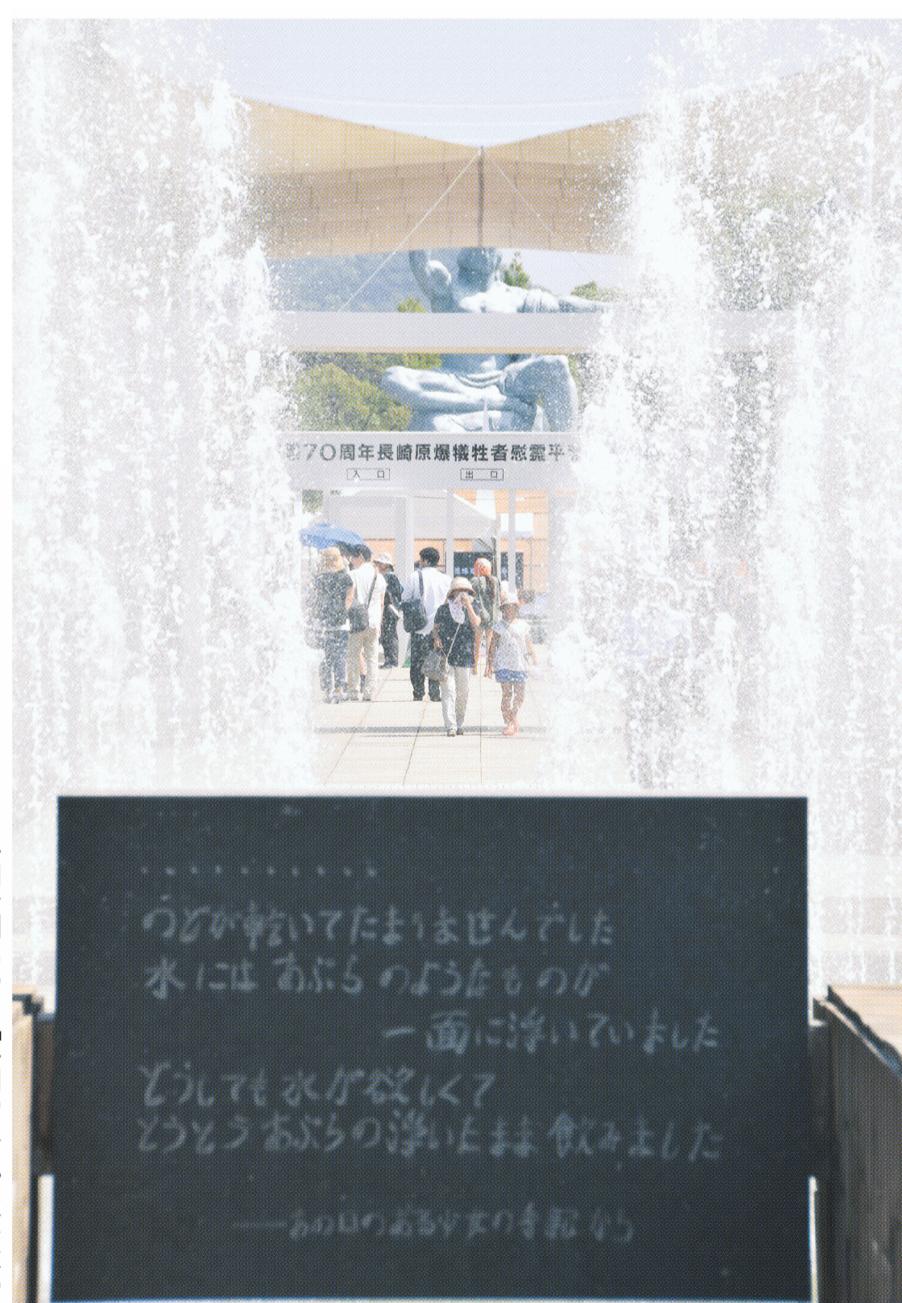
原爆ドーム前を流れる元安川で行われた灯籠流し。平和記念式典後、日が暮れた後も多く人が平和を祈った=6日夜、広島市

**署名集め**

力を込めた=1日前、広島市  
核廃絶の署名を呼びかける広島女学院高  
校生徒ら。2年の難波華子さん(右)は  
「被爆者が生きているうちに実現したい」

**平和の泉**

平和公園にある「平和の泉」。水を求める  
亡くなつた被爆者の冥福を祈る=8日午  
前、長崎市

**ヒロシマ**

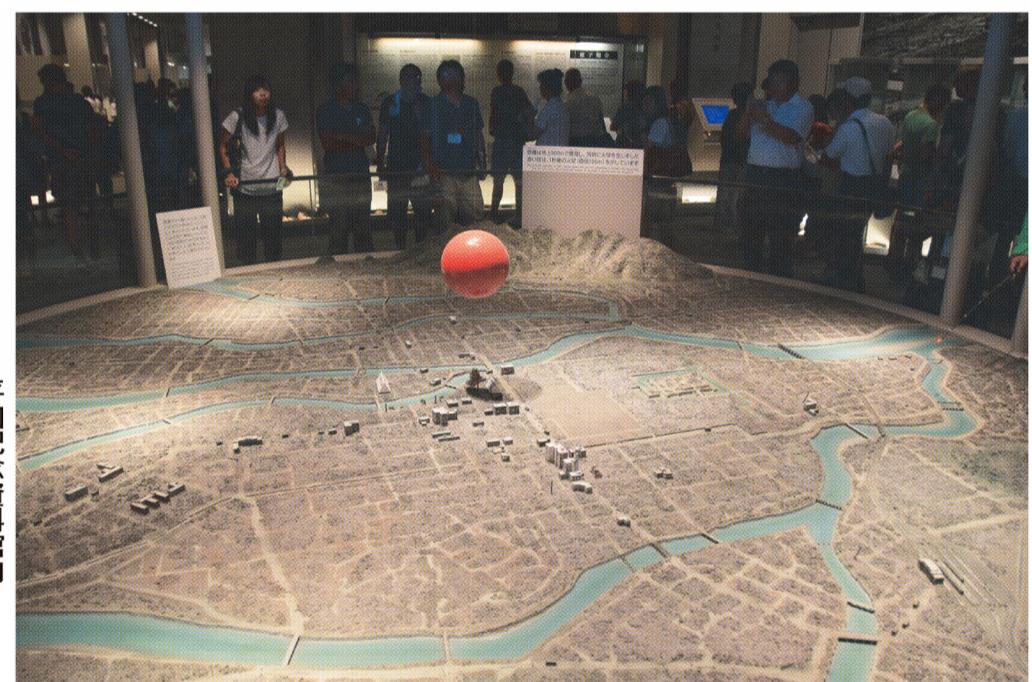
「あの日」から70年。被爆地の今を伝えようと、7月下旬から広島と長崎を訪ねた。今も残る遺構や慰霊碑が静かに原爆の惨状を物語る。8月6日と9日、それぞれの「原爆の日」は深い祈りに包まれた。犠牲者を悼み、平和を強く願う被爆者や遺族。若者たちは体験の継承を誓い、核兵器廃絶を訴えた。「過ちは繰り返さない」「ここを最後の被爆地に」。ヒロシマ、ナガサキの思いをどう受け止めるのか。15日、70年目の終戦の日を迎える。(横松敏史)

**灯籠流し**

元安川の水面に浮かぶ色とりどりの灯籠。犠牲者の冥福と核廃絶を願う人々の列が続いた=6日夜、広島市

**平和な次代祈る被爆地****70年目の広島、長崎訪ねて****原爆死没者慰靈碑**

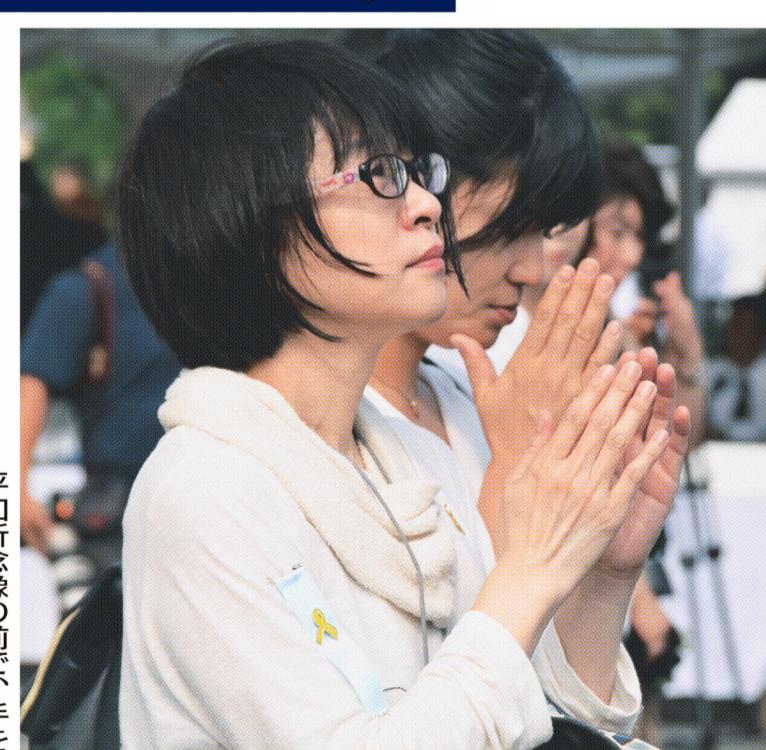
平和記念公園のほぼ中央にある原爆死没者慰靈碑。奥には原爆ドームが見える。世界各国から多くの人が訪れ手を合わせる=1白午後、広島市

**パノラマ**

平和記念資料館内にあるパノラマ。小型の太陽とも言われる原爆の火球と市街地を示す=7月29日午前、広島市

**ナガサキ****手を合わせ**

平和祈念像の前に手を合わせる人たち。多くの人が祈りをささげた=9日午前、長崎市

**浦上天主堂遺壁**

浦上天主堂の遺壁(手前)と原爆落下中心地碑。遺壁はこの場所に移築され、原爆の惨状を今も残す=8日午後、長崎市

